

七、五、三で冬が来る



行く国マガのある店

ありがとう。の交流所

ここ奈良地区センターは、2000年4月の開館よりこどもの国住民のサークル活動やスポーツ、交流の場としてたくさんの方に利用されてきました。卓球やバドミントンに熱中する子供たち。将棋スペースの真剣な表情のお年寄り。自習室で勉強に励む学生と様々に地区センターを活用する姿が館内で見られます。われわれ国マガも会議や作業の際には、何度もお世話になりました。多種多様な講座に、センター主催のイベントも行われ、年々利用する方は増えていっているそうです。利用したことがないという方も、一度訪れてみると新しい出会いや楽しみを見つかることができるかもしれませんよ。

現在の館長は、昨年就任した相田忠夫さん。こどもの国は、自然が豊かで住民の人たちは素朴でとても親しみやすい町だと言います。館長として、地域との繋がりを第一に考え、快く国マガの配布に協力して下さっているのも、国マガが地域貢献になっていると判断し応援しているからとありがたいお言葉をいただきました。相田館長がこの仕事で嬉しく感じるの「ありがとう」の一言が地域や人を繋げていく大切な力になっているのです。

至錦川 至こどもの国

★「奈良地区センター」

奈良小学校

奈良地区センター
月曜日～土曜日 9時～21時
日曜日・祝日 9時～17時
休館日 毎月第2火曜日(祝日の場合は翌日)

2016 11

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3 文化の日(祝) 青葉区民まつり こどもの国 どうぶつ マラカスをつくらう	4	5 こどもの国 牧場まつり
6	7 奈良地区センター シニア向けメイク アップ講座	8	9	10	11	12 こどもの国 サッカー大会
13 こどもの国 わくわく陶芸体験 青葉公会堂 青葉区民音楽祭	14 今年最大の満月 22時52分	15	16 奈良地区センター 本好き女子の お料理講座	17	18	19 奈良中学校 奈良ふれあい フェスティバル
20 こどもの国 紙飛行機を飛ばそう	21	22	23	24	25	26 こどもの国 たんぼぼフリー マーケット
27 こどもの国 たんぼぼフリー マーケット	28	29	30			

2016 12

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3 こどもの国 乳搾り体験
4 こどもの国 バターづくり教室	5 こどもの国 ノルディック ウォーキング	6	7	8	9	10 こどもの国 乳搾り体験
11 こどもの国 チーズづくり教室	12	13 ふたご座流星群	14	15	16	17 こどもの国 アイススケート場 オープン
18 こどもの国 紙飛行機を 飛ばそう	19	20	21	22 青葉台フィリアホー ル クリスマス☆ゴス ベル グローリー・ゴ スベル・シンガーズ	23 天皇誕生日(祝)	24 こどもの国 乳搾り体験
25	26	27	28	29	30	31

国民の悩み

相談員 サリー志村

悩 よく芸術の秋とかスポーツの秋とか言いますが、最近ではヨガの秋とか陶芸の秋とか、なんでも秋に結びつける傾向があつて何を始めていいか混乱しています。(たいやきマン/28歳男性)

答 たしかにこの季節には「○○の秋」という文字が街中に溢れますね。私がドラッグストアで見たのは、「消臭の秋」。とくに秋が臭うってわけでもないでしょう。臭い人は年中臭いです。こんなに溢れているわけなので、いちいち惑わされているのがムダなのです。もうなんでもいいんですよ。「何もしない秋」とか「沈黙の秋」とかでも。とにかく落ち着いて己と向き合い、自分なりの小さい秋を見つけてください。

オオキが認定 今回の逸品

奈良地区センター【数取器】

奈良地区センターの平成27年度利用者数は、なんと11万2千人。結構驚いてしまう数字ですね。1日当たりだと300人以上の利用者をきちんと数えるのはなかなか大変な作業です。そこで活躍するのが受付デスクの上の数取器(カウンター)。以前はノートに記入するちよつと面倒な形式でしたが、これで僕の場合は「男性・一般」をカチッと、「青葉区」をカチッと押すだけでオケー。これなら受付も混み合わないし、人数も表示を見れば一目瞭然。入館の時には忘れずカチッとね!

11月と12月の予定

近づく冬と遊びたい!

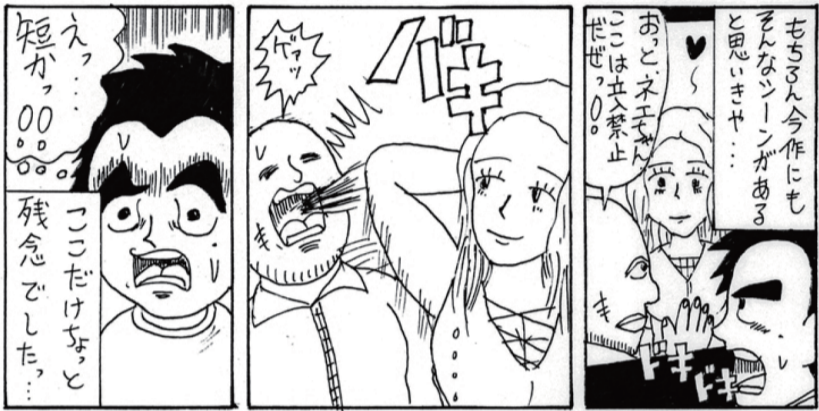
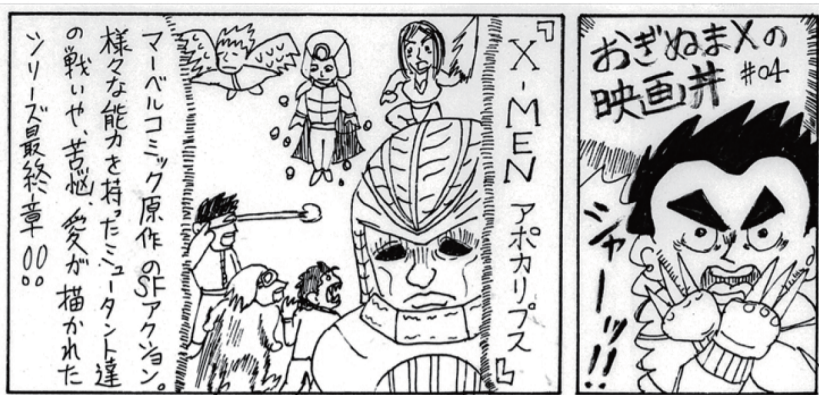
秋から冬にかけてのこどもの国周辺のイベントは、音楽が目立ちますね。青葉区役所で11月3日開催の「青葉区民まつり」は、出店やトークショーなどが目白押し、青葉区民なら誰もが楽しめるお祭りですが、和太鼓の演奏や吹奏楽の演奏のほか、郷土芸能保存連合会の祭囃子、青葉音頭など、音を楽しむことのできるイベントになっています。

11月13日には青葉区民音楽祭が開催。11時30分から16時まで、アコーディオン、ハーモニカ、マリンバなどを愛する市民愛好家のみなさんの演奏が、青葉公会堂で楽しめます。

12月といえばクリスマスですが、青葉台のフィリアホールでゴスペルを楽しむなんて過ごし方はどうでしょう? ニューヨークからトップゴスペルグループの「グローリーゴスペルシンガーズ」が来日して、歌声を響かせてくれるそうです。

こどもの国でもイベントがたくさんありますが、冬のこの国といえは忘れてはならないのが「アイススケート」! 今年のスケート場のオープンは12月17日となっていますので、2016年最後の思い出に滑り込んでほしいです。

そうそう、初詣はもちろんすみよし神社で!



サラリーマンの美容師

床屋は20年ぶり

会社をなんとなく休んだ日曜日。朝からだらっと寝て、気が付くともう昼過ぎになっていた。このままどーとー日がなんとなく過ぎてしまおうと寝床でもだえ、今日ひとつは何かした気になろうと考えたのが、床屋で散髪をする、ということだった。

この、床屋、というのが重要ポイントなのだ。というのも、10歳までオレは床屋で切っていたのだが、あるとき母親がどこかで「ツーブロック」というハイカラな髪型を覚えてきて、それを息子にさせようと、いつもの床屋に訪れ、店主のパンチパーマおやじにその構造（「ヨコは刈りあげて、テッペンが残すので」）を一生懸命説明したが、うまく伝わらず（「奥さん、そんな髪型は見たことないねえ」）、はい、もうこれからは「ツーブロック」の分かる美容院に行けとなり、それ以来、美容院派なのである。そんなわけで、店先に赤と青のぐるぐるがあるような床屋に20年ぶりぐらいに行くことが、ものすごいイベントのように感じたのだ。

そうと決まれば、すぐ家を出て近所の商店街を探

す。しかしどこもかしこも美容院で、なかなか見つからない。ひとつ先の駅の商店街にまで遠征してみたが、やはり美容院ばかりで、床屋も一軒はあったが激安千円カットだった。床屋ってもう少なくなっているのだろうか。

「金はある、切る髪だってまだあるぞ！」と商店街の中心で叫びそうになったとき、ふと商店街の脇道の先に赤と青のぐるぐるが見えた。お、あれはと店の前まで行くと、古そうだが清潔、値段も安過ぎない、尾木ママ似の店主がパンチパーマじゃないのが残念だが、無表情で落ち着いた佇まいに、熟練の職人の安心感がある。ここが、まさに探し求めていた理想的な床屋である。

ここで久々に顔剃りとおじき体制で洗髪をしてもらった。施術が終わり、鏡に映った自分は、短めきつちり七三で昭和の頑張るサラリーマンのようだった。その姿を覗いて、うーん、髪型のおかげで今日会社をサボった人には見えないぞと、店主の技術に妙な回路で納得を覚えた。ともあれ、何も無い日は避けられた。尾木ママおやじよ、ありがとう。



小説

暮れ

安原マヒロ

「今年も残すところあと1ヶ月...。毎年この時期に、口癖のようにテレビが喋るセリフは、そのトーンの軽さとは比べものにならないほどの重さをもつ。それなのに、日曜日の、低く窓から差し込むようになった日差しをぼーっと見ながら、私はベッドに横になっっている。

今年の目標、そういえば麻美と二人だけでやった新年会でお互い言いあつた。あの時はお互い彼氏なんかいないで、今年中に結婚決めるなんて麻美の目標、笑い飛ばしていたけど、まさか本当にあの子が決めるとは思わなかった。私がいなくて自分から男子と約束もしない子だったんだけど、まさかボルダリングで出会いがあるとはね。ああ、そういえば一昨年の麻美の目標は「ボルダリング始める」だった。なんだよ、目標ひとつひとつクリアしているんじゃない。

でも仕方ない、麻美は建設会社の事務、私はファッション誌

イラスト・ニット坊や

の編集忙しさが違う。今だって、昨日遅くまで続いた撮影のあと、疲れをとるために、午後まで寝てしまったんだ。体力、なくなつたな。原宿の街歩きマップの記事を作っていて思うもん。こんなに歩きたくねえよ。記事にする服もメイクも恋愛も、もう私よりずっと若い子のためのもので、自分とは関係ないものを、仕事で作っている。編集者になつたときには、そんなこと考えもしなかった。ずっと好きなものの側にいられると思っていたけど、そんなことなかった。

なんだか言い訳と、涙ばかりが出てきて、大好きなこの季節までこぼれ落ちてしまいうそで、思わず季節のない国に行きたいとつぶやいた。季節の運ぶ心の波がなければもつと楽かも。瞬間、今朝の社内メールが頭をよぎる。アジア事業部への転属志願者募集を思い出したとき、私の目が、冴えた。

国マガ配布店

【こどもの国地区】
 ●アンシャンテ(ドッグサロン) ●井組自動車工(板金/塗装) ●おぐに(喫茶) ●GRIVE(コーヒー) ●こどもの国歯科(歯科) ●スリーエフ・こどもの国駅前店(コンビニ) ●セントポーリア(喫茶) ●なごみ(そば) ●なつうめ(カレー) ●奈良地区センター●炭火焼肉はち(焼肉) ●Bacchus(イタリアン&バー) ●B-line!(エクササイズ) ●街の家族(コミュニティハウス) ●MONT(パン)

【奈良北地区】
 ●かつ元(とんかつ) ●川本鍼灸接骨院(接骨院) ●Coonie(パン) ●シュタットシンケンかくれが工房(ハム/ソーセージ) ●昭和書房(本/文具)

【青葉台地区】
 ●あつる鍼灸接骨院(接骨院) ●KOGA(美容室) ●COPPET(パン) ●Soul Cocktail's AOBADAI(バー) ●246亭(ラーメン)

【田奈地区】
 ●赤い家(アートスペース) ●太平プラン(不動産)

【町田市】
 ●ULTRABO(古着)

次号は1月1日配布予定!!
 こどもの国系情報誌「国マガ」Vol.10
 発行日 2016年10月31日
 発行人 サリー志村
 デザイン ヨシムキ
 連絡先 kunimaga920@gmail.com
 ※Facebookでバックナンバー配信→
<https://www.facebook.com/kunimaga>

国マガ STAFF

サラリー志村 業界誌編集

サウナにはまっています。体が火照った状態で水風呂に入ると、頭にどくどくと血が巡り、うふっと自然に笑みがこぼれます。傍目に不気味ですが、やめられません。

オオキ 長男

おいしいうどんが食べたくて、ネット通販で「純生うどん」なるものを取り寄せてみたものの、本場香川県の讃岐うどんへの想いは募るばかりなのです。

加藤シュンスケ イラストレーター

「日本人は時間を守る」という考えは多くの国で根強いようで、非常に迷惑しています。ちょこっと遅刻しただけで、「お前日本人か?」とか言われます。

安原マヒロ ファッション誌編集

隔月刊行になっても、国マガの締切はすぐに来る。もう12月の予定を掲載しているわけで、時間の流れがはいはいはいい。20代最後の1年、2017年をどう過ごすか思案中。

おぎぬまX ギャグマンガ家

僕ずっと足のサイズが26.5センチだと思ってたのですが、実は25センチでした! ジャストフィットしたクツを履いたらちよっと足が速くなりました!

イラスト・柏木翔子

加藤シュンスケ アイルランド滞在記

パブで友人とお酒を飲んだ翌日、ホストマザーに「昨日の帰りはもちろんチツプス(フライドポテト)食べたんでしょ?」と聞かれました。食べないし、なぜそんな事を聞くのか尋ねると、マザー曰く「アイルランド人はシメにチツプスを食べるのが常識とのこと。なので日本人はシメにラーメンを食べることが多い」と返されました。

翌日、ホストマザーに「昨日の帰りはもちろんチツプス(フライドポテト)食べたんでしょ?」と聞かれました。食べないし、なぜそんな事を聞くのか尋ねると、マザー曰く「アイルランド人はシメにチツプスを食べるのが常識とのこと。なので日本人はシメにラーメンを食べることが多い」と返されました。